

交通安全通信

第七十三号

(秋号)

秋の全国交通安全運動

【期間】

令和八年九月二十一日から
令和八年九月三十日までの
十日間です。

運動の重点

① こどもと高齢者の
交通事故防止② 自転車と二輪車の
安全利用の推進③ 飲酒運転等危険運転の
根絶～地域交通安全センター～
スルガ自動車学校〒424-0204
静岡市清水区興津中町5 2 2-1
フリーダイヤル0120-017-120清水警察署
警察官交通課
金岩係長より『左折レーンとは自転車例外』
巻き込み注意の交差点「自転車は左折レーンを
直進できる？」ドライバー
も自転車も戸惑いがちなこ
の疑問。実は、道路交通法上、
自転車は一番左側の車両
通行帯を直進しなければな
りません。キープレフトが
徹底されたルールのため、
左折専用レーンであっても
直進レーンに移ることはで
きません。【自転車運転者の方へ】
交差点付近では、左折する
車の死角に入りやすいため
大変危険です。車の動きを
よく見て、巻き込まれない
ような位置取りを心掛けま
しょう。直接またはミラー越しにドライバーの顔が見
えない位置は死角かも。
相手から見えていない
可能性大！

【ドライバーの方へ】

「自転車が左折レーンにい
るから曲がるだろう」とい
う思い込みは禁物です。

左折前に必ず

●ミラーと目視で巻き込み
確認●左折合図と左寄せ
を行い、自転車のすり抜け
や巻き込みを防ぎましょう。お互いがルールや死角のリ
スクを理解し、思いやりの
ある運転で危険な交差点
事故を無くしましょう！

清水海上保安部より

夏の日差しも落ち着き、
少しずつ秋の気配を感じる
季節となりました。過ごし
やすい気候になる一方、秋
は台風が日本に接近・上陸
することも多くなり、日本
から遠く離れた海上を通過
する場合でも、海岸などで
は、突然、大きな波
（「一発大波」と呼ぶ。）
が発生することがあります。
今年7月、富士市の海岸にいた人が高波にさらわれ
死亡する事故が発生してい
ます。この時、日本の南の
海上を台風が通過していま
したが、静岡県をはじめと
する太平洋沿岸では、大き
なうねり（大波）が打ち寄
せていました。

「一発大波に注意！」

一見、穏やか
そうに見える
海でも、
「一発大波」
と呼ばれる大きな波が発生することがあ
ります。この大きな波は1
千回に1回くらい、時間で
は約2～3時間に1回の
割合で発生すると言われて
います。この「一発大波」
は、通常の二倍の大きさの
波となることがあるので、
一見穏やかそうに見えても
油断せず、大きな波が来る
かもしれないことを覚えて
おきましょう。「海で釣りをする時に
注意すること」天気予報が
晴れでも、風
が強く波が高
い時には、釣りをするのは止めましょう。
また、釣りをする時は、
自分の命を守るため、
「事前に天気予報を確認す
る」、「二人で行動しない」、
「立入禁止の場所に入らな
い」、「ライフジャケット
を着る」、「防水バックに
入れたスマートフォンを持
ち歩く」ようにしましょう。
また、海で事故が起きた時
は「118」番
（海上保安庁の緊急通報用
電話番号）に通報してくだ
さい。海上保安庁では、様々な
ウォーターアクティビティ
（海辺でのレジャー活動）
を安全に楽しむための情報
を「Water Safety Guide
（ウォーターセーフティガ
イド）」として提供してお
ります。パソコンやスマートフォン
などでだれでも簡単に利用
することができまうので、
海に遊びに行く際は、是非
チェックし
てください。
リンク先2
次元コード
はこちら。

小学生の自転車ルール

安全に止まる

周りを見る

無理をしない

この3点に気を付けて急な飛び出しや見落としがないように注意して自転車に乗りましょう。

乗る前の確認

①ブレーキがきくか

②タイヤの空気圧が足りているか

③ベルがなるか

④靴ひもや服が車輪に巻き込まれないか



走る時

「二つがける」と

①道路では、まわりの車や歩行者をさきに見る習慣が大切です。

②自転車は車両ですから左側を通行します。

③交差点では必ず止まる

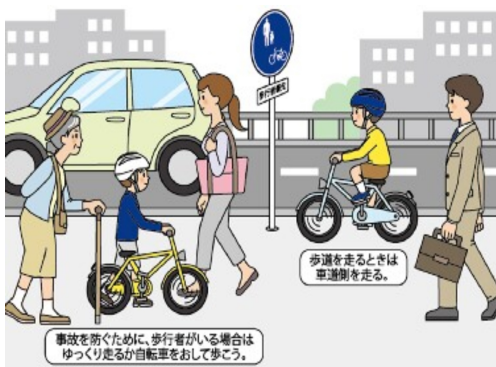
④見えないところから急にでない

⑤並んで広がって走らない

⑥片手運転をしない

小学生が自転車に乗車する際は、走行する道路の車道が危険な場合は、歩道をルールに従って走行しましょう。

13歳未満の子供は、歩道を自転車で行きしてよいと定められています。車道が狭いときや交通量が多くて危険だと思ったら



歩道を交通ルールに従って走行しましょう。

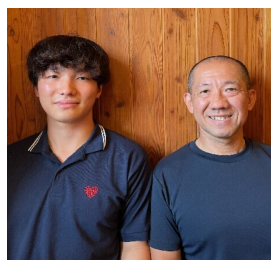
①歩道では「歩行者優先」です。歩行者がいたら速度を落として歩行者の邪魔にならないようにすぐに止まれる速度で走行しましょう。

②必要な時は、一時停止して歩行者を優先して先に通行させてください。

③出来るだけ車道よりを走行しましょう。ベルを鳴らして歩行者をどかせるのはやめましょう。

特別メッセージ

今回は清水区出身で自転車のプロ選手として活躍している丸山啓一選手と丸山留依選手にお話を伺いました。



自転車や車を安全に運転する為にどのようなことが大切ですか？

競技ではいつも一着を目指して誰にも負けないつもりで走っていますが道路では譲り合いと思いやりをもって運転しています。

厳しい世界で活躍する二人からのメッセージです。どんなスポーツにもルールがあります。自転車も交通ルールを守って安全に運転しましょう。



留依選手は高校3年生の時『2024トラック世界選手権大会 中国』に日本代表選手として出場しました。たくさんの人たちに自転車競技に興味を持ってもらえたら嬉しいですね。今回は本当にありがとうございました。みなさんも自分の夢や目標に向けて毎日頑張っていると思います。しかしたった一度の交通事故でそれらをあきらめなくてはならない時もあります。安心・安全であることが自分のため、家族のため、友達のためにととても大切であることを忘れずにいてください。